

研究構想図

新学習指導要領

＜改訂の経緯＞ ・ 厳しい挑戦の時代 ・ 予測が困難な時代 ・ 新たな価値創出への期待 等

＜改訂の基本方針＞ ・ 知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成 等

豊島区教育ビジョン2015

・ ICT 機器を有効に活用した学習活動 → タブレット型パソコンの配備増

・ 学校図書館を学習情報センターとして位置付け → 豊成小に学校図書館を新設 等

本校の積み重ね

・ 教育目標である「本気の学び」「美しい心」の育成

・ 明確な指導観を基にした「特別の教科 道徳」の研究（平成 28～30 年度）

・ 「ほっこりノート」等を活用した「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善 等



これらの流れを踏まえた目指す児童像

学ぶことが楽しいと感じ、主体的に課題を解決しようとする児童

＜低学年＞

◎ 体験をとおして思いや願いをもち、それを実現しようとする児童

＜中学年＞

◎ 進んで課題を追求する児童
◎ 伝え合い・学び合いが広がるクラス
◎ 分かる楽しさを実感

＜高学年＞

◎ 知識や経験を活用できる児童
◎ 考えを伝え合う児童
◎ 主体的に学ぶ児童

＜専科＞

◎ 友達の良さ・学びの良さが分かる児童
◎ 「やりたい・言いたい・伝えたい」児童



実現のための具体的な取組

研究主題 「楽しく学び、知識の理解の質を高める指導方法の工夫」

～学校図書館・ICT 機器・ノートの活用を通して～

研究仮説 全教育活動（または教科等）において、特に学校図書館、ICT 機器、ノートを効果的に活用しながら「主体的・対話的で深い学び」のできる授業を実施すれば、児童の知識の質を高め、確かな学力を育成することができるであろう。



【研究の内容 1】

社会科・生活科における主体的・対話的で深い学びに向けた授業の実現のために、問題解決型学習を中心とした授業を推進する。

＜＜手立て＞＞

○ 教材選択・教材提示の工夫

○ 学習活動の工夫

- ・ ICT 機器（タブレット型 PC 等）の効果的な活用
- ・ 学校図書館、図書の効果的な活用
- ・ 授業と関連した「マイ・ノート」の活用

【研究の内容 2】

個に応じた主体的で創造的な家庭学習の推進

- 発達の段階・個の特性に応じた「マイ・ノート」の活用
- 長期休業期間における、公立図書館、学校図書館、インターネット等を活用した調べ学習の奨励
- ※「調べる学習コンクール in しま」への応募推奨